ジャマイカ政治・経済月間情勢（６月）

【要旨】

内政では、ホレス・チャン国家安全保障大臣が、セント・ジェームズ、ウェストモアランド、キングストン、セント・アンドリューにおける犯罪対策特別地区（Zones of Special Operaations : 通称ZOSO）の60日間の延長を発表。経済では、世界銀行がジャマイカの今年の成長率を2％と予測し、金融活動作業部会(FATF)は、マネーロンダリング/テロ資金供与対策(AML/CFT)体制に不備があると評価された国のグレーリストから、ジャマイカを除外した。

1. 内政
2. 国家安全保障相、ZOSOの延長を発表

ホレス・チャン国家安全保障大臣は、セント・ジェームズ、ウェストモアランド、キングストン、セント・アンドリューにおける犯罪対策特別地区（Zones of Special Operations : 通称ZOSO）の60日間の延長を発表した。この延長は、Denham Town、Parade Gardens、August Town、Greenwich Town、Mount Salem、St.James、Savanna-la-Marの各コミュニティに影響するとしている。チャン大臣によると、ZOSO全体の暴力犯罪の平均減少率は33％であり、最も高いのはキングストン中心部のパレード・ガーデンズの88％である。（12日付ネイション・ワイド・ニュース・ネットワーク）

1. 経済
2. 世界銀行、ジャマイカの今年の成長率を2％と予測

世界銀行は11日、カリブ海地域の経済成長率は今年7.1パーセントに強化され、ジャマイカ経済は2パーセントの成長を記録すると予測した。地域全体では堅調な業績は2025年も5.7%で続くが、ジャマイカでは2025年に1.6%と若干の低下が見込まれる。2024年初頭には景気回復の兆しが見られたものの、回復には地域によってばらつきがあるとしている。バハマの2024年の実質国内総生産（GDP）成長率は2.3％で、翌年には1.8％に低下し、バルバドスの成長率は3.7％で、2025年には2.8％に低下する。世界銀行は、2023年後半、ラテンアメリカ・カリブ海諸国（LAC）は金融引き締めの影響が長引き、経済成長が鈍化すると指摘した。（11日付　グリーナー紙）

1. ジャマイカがFATFのグレーリストから除外される

ジャマイカは、金融活動作業部会(FATF)のマネーロンダリング/テロ資金供与対策(AML/CFT)体制に不備があると評価された国のグレーリストから除外された。この発表は、今週シンガポールで開催されたFATF会合にジャマイカ代表団を率いて参加したナイジェル・クラーク財務・公共サービス大臣が金曜日のメディアリリースで行った。大臣は、ジャマイカをリストから除外する決定は28日のFATF総会で下されたものであり、ジャマイカにとって重要な成果であると述べた。ジャマイカは2020年2月にグレーリストに掲載され、国際金融機関やその他の機関に対し、同国の団体や個人と取引を行う際にはより強化された適正評価手続きを行うよう通告した。これにより、FATFグレーリスト掲載国との取引はより高額になる。

（28日付　グリーナー紙）